

自然湖

「木曾署」木曾郡王滝村には多くの滝や溪谷、火山など風光明媚な場所があり、



忽然と現れる紺碧の自然湖

これが今回紹介する「自然湖」です。
 ここは、王滝国有林二三二六林班、御岳国有林二三三〇林班外にかかる場所です。

長野県西部地震記録「まさか王滝に！」によれば地震により御嶽山伝上川上部で地質や地下水、当日以前の降雨などの条件が関連して大崩れが発生し、三、四〇〇万立方メートルの土砂が激しい勢いで流下し、広大な森林、温泉や貯木場、村道、林道など多くの施設を流し、人々をも飲み込み、深く切れ込んだ王滝川の溪谷を埋め尽くしたとされています。
 現在、王滝村中心部から西へ、王滝併用林道を滝越集落に向かい約九キロメートル、忽然と紺碧の湖が左手に現れます。

近代ではスキー場や保養地としても利用されてきました。
 そんな王滝村にもう一つの名所柳ヶ瀬の「自然湖」が誕生しました。
 一九八四年（昭和五十九年）九月十四日の王滝村を震源とする長野県西部地震（M₂六・八）による御岳大崩壊の土砂により王滝川が堰き止められて出来たものです。



カヌーを楽しむ人たち

湖の深いところでは約三〇メートルであるといわれています。
 谷筋に沿った東西に約一、二〇〇メートル、南北二〇〜一八〇メートルほどの大きさで変化にとんだ入り江があり、湖面には林の立木がそのまま水没して枯れ上がったところもあります。
 両岸には、樹齢三〇〇年前後の木曾五木を主とする天然林や七十八年生のヒノキ人工林などがみられ一帯は風景林に指定されています。
 時折、村道を通過する車の音以外、小鳥のさえずる声と風の音ぐらいいしかな静かな湖面には、緑深い森林が映り、水

中には大きなコイが表面近くまで様子を見に上がってきます。
 近年、ここを癒しの場として活用するためカヌーを使って自然に親しみ楽しむ活動が行われるようになり、休日や夏の期間には多くの人達が訪れるようになりました。
 上流には、滝越の「水交園」もありバーベキュー等も楽しめます。

◆アクセス

- ・公共交通機関を利用した場合
 JR中央西線木曾福島駅下車
 タクシー利用で六〇分
- ・自動車を利用した場合
 中央自動車道中津川ICより
 塩尻方面へ一〇分
 中央自動車道伊那ICより
 権兵衛R一九号経由一〇〇分



湖面に現れたコイ